

〔科目名〕 会 計 学 基 礎 論 (経営学科・地域みらい学科)	〔単位数〕 4 単位	〔科目区分〕 専門科目 基礎科目
〔担当者〕 池田 享誉 Ikeda Yukitaka	〔オフィス・アワー〕 時間: 最初の授業中に通知 場所: 研究室(514)	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 会計情報は経営意思決定・投資意思決定の要であり、会計はビジネス言語と呼ばれている。ビジネス言語を知らずして、ビジネス社会で成功することはできない。 本科目「会計学基礎論」は、多くの学生にとってこのビジネス言語を学ぶ第 1 歩であろう。ここで学ぶことは、会計数字をより良く読めるようになるために、まずは会計数字がどのように作られているのかについて、つまりビジネス言語の文法を学ぶことにする。そして、実際に自分で帳「簿記」入をし、会計情報を作成することによって、ビジネス言語を肌で感じ取ってもらおうと考えている。そして、簿記能力を簿記資格という見える形にしておくことを薦めたい。履歴書に記入された簿記資格は、将来において就職活動を行う際、ビジネス言語を修得した証として役に立つからである。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 「会計学基礎論」は青森公立大学におけるすべての会計関連科目の基礎となる科目であり、特に 1 年次秋学期の「商業簿記」、「財務会計論」、「工業簿記」へと直接つながる科目である。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 「会計学基礎論」では、簿記に力点をおいた授業を行う。 最終目標: 日商簿記検定3級レベルの複式簿記の修得 期末試験も日商簿記検定3級と同レベルの内容を出題する。 中間目標: 日商簿記検定4級レベルの複式簿記の修得 * 日商簿記検定試験は、6月、11月、2月に実施されている。春学期は4月～7月なので日商簿記検定試験は一度しか受けられないが、6月に日商簿記検定3級に合格することを目指して欲しい。 * 商業高校出身であって、すでに日商簿記検定2級に合格しており、なおかつ先の学習を希望するものに対しては別途対応するので申し出ること。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 学生の授業評価で、「復習用のプリントが用意されており良かった」、「TA がいて質問できて良かった」、「とてもわかりやすく丁寧に教えてくれる」、「進むのが速い」という意見を受けました。今年も例年通り、復習用のプリントを用意しますし、TA も準備しています。難しいことを分かりやすく説明しますので、例年皆さん非常によく勉強してくれています。今年度講義を受ける皆さんもぜひ頑張ってください。「進むのが速い」という点についてですが、昨年以上に学生の皆さんの理解度を確認しながら進めていこうと考えています。周りの学生に遅れないようにしっかりついてきて下さい。		

〔教科書〕 『ALFA 3 commercial Bookkeeping』大原簿記学校（テキスト、問題集、解答）	
〔指定図書〕 なし	
〔参考書〕 授業の中で適宜紹介する。	
〔前提科目〕 なし	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 小テストを数回と期末試験を課す(持込不可)。 レポートは課さない。 6月の日商簿記3級合格者には特典を与える(必ず合格証のコピーを提出すること)。	
〔評価の基準及びスケール〕 小テスト20点、期末試験80点で、 $A \geq 80$ 点、 $B \geq 70$ 点、 $C \geq 60$ 点、 $D \geq 50$ 点、 $F < 50$ 点として評価する。 (期末試験のウェイトが非常に高いことに注意。)	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 この科目は、本学で学ぶすべての会計関連科目の基礎となる科目なので、学生諸君が授業内容をどれだけ理解できているかを確認するために小テストを行う。この小テストにより、学生諸君自身も自分の理解度をチェックし、各自計画を立てて学習を進めて欲しい。	
〔実務経歴〕 なし	
授業スケジュール	
第1回	テーマ（何を学ぶか）：簿記を学ぶにあたっておよび貸借対照表 内 容：授業の紹介および貸借対照表 教科書：第1章
第2回	テーマ（何を学ぶか）：貸借対照表と損益計算書 内 容：貸借対照表と損益計算書の作成 教科書：第1章
第3回	テーマ（何を学ぶか）：勘定、仕訳、試算表 内 容：勘定の理解、仕訳の練習と試算表の作成 教科書：第2章
第4回	テーマ（何を学ぶか）：商品売買① 内 容：商品売買に関する取引の記帳について学ぶ。 教科書：第3章

第5回	テーマ（何を学ぶか）：商品売買② 内 容：商品売買に関する取引の記帳について学ぶ。 教科書：第4章
第6回	テーマ（何を学ぶか）：商品売買③ 内 容：商品有高帳について学ぶ。 教科書：第4章
第7回	テーマ（何を学ぶか）：商品売買④ 内 容：商品有高帳について学ぶ。 教科書：第4章
第8回	テーマ（何を学ぶか）：第7回までの理解度の確認および現金預金① 内 容：確認テストおよび現金預金に関する取引について学ぶ。 教科書：第5章
第9回	テーマ（何を学ぶか）：現金預金② 内 容：現金預金に関する取引について学ぶ。 教科書：第5章
第10回	テーマ（何を学ぶか）：手形① 内 容：手形に関する取引について学ぶ。 教科書：第6章
第11回	テーマ（何を学ぶか）：手形② 内 容：手形に関する取引について学ぶ。 教科書：第6章
第12回	テーマ（何を学ぶか）：有形固定資産 内 容：有形固定資産に関する取引について学ぶ。 教科書：第7章
第13回	テーマ（何を学ぶか）：債権・債務① 内 容：債権・債務に関する取引の記帳について学ぶ。 教科書：第8章
第14回	テーマ（何を学ぶか）：債権・債務② 内 容：債権・債務に関する取引について学ぶ。 教科書：第8章
第15回	テーマ（何を学ぶか）：第14回までの理解度の確認および株式会社の会計 内 容：確認テストおよび株式会社に関する取引について学ぶ。 教科書：第9章
第16回	テーマ（何を学ぶか）：消費税等 内 容：消費税等に関する取引について学ぶ。 教科書：第10章
第17回	テーマ（何を学ぶか）：その他の費用・収益 内 容：その他の費用・収益について学ぶ。 教科書：第11章

第 18 回	テーマ (何を学ぶか) : 試算表 内 容 : 試算表の作成について学ぶ。 教科書 : 第 12 章
第 19 回	テーマ (何を学ぶか) : 伝票 内 容 : 伝票の作成について学ぶ。 教科書 : 第 13 章
第 20 回	テーマ (何を学ぶか) : 第 19 回までの理解度の確認および証憑 内 容 : 確認テストおよび証憑について学ぶ。 教科書 : 第 13 章
第 21 回	テーマ (何を学ぶか) : 決算 内 容 : 決算について学ぶ。 教科書 : 第 14 章
第 22 回	テーマ (何を学ぶか) : 決算 内 容 : 売上原価の算出について学ぶ。 教科書 : 第 15 章
第 23 回	テーマ (何を学ぶか) : 決算 内 容 : 売上原価の算出の続きおよび貸倒引当金について学ぶ。 教科書 : 第 15 章
第 24 回	テーマ (何を学ぶか) : 決算 内 容 : 減価償却について学ぶ 教科書 : 第 15 章
第 25 回	テーマ (何を学ぶか) : 決算 内 容 : 経過勘定科目について学ぶ 教科書 : 第 15 章
第 26 回	テーマ (何を学ぶか) : 決算 内 容 : その他の決算修正 教科書 : 第 15 章
第 27 回	テーマ (何を学ぶか) : 決算 内 容 : 精算表の作成 教科書 : 第 15 章
第 28 回	テーマ (何を学ぶか) : 貸借対照表と損益計算書 内 容 : 貸借対照表と損益計算書の作成。 教科書 : 第 16 章
第 29 回	テーマ (何を学ぶか) : 決算 内 容 : 貸借対照表と損益計算書の作成。 教科書 : 第 16 章
第 30 回	テーマ (何を学ぶか) : 会計学の世界 内 容 : 財務会計・管理会計・監査・経営分析・原価計算・工業簿記・税務会計・非営利組織会計・自治体会計・政府会計等 教科書 :
試 験	持ち込み不可